



夏がくる度に思うことです。「雑草のように生きたいなあ」…刈りとっても刈りとってもあつという間の再生エネルギーに追い付けません。しかしながら、同じ地球に共存する雑草から私達は知らず知らずにエネルギーを頂いているのかもしれないですね。その夏もやがて終わります。

さあ！ 次の一步に踏み出しましょう！！

**9月 月例会****「今日も私は生きてます —18歳から現在を振り返って—」**

【講師】町田 弘樹氏（47歳）「NPO法人ニュートラル」スタッフ、京都オレンジの会 世話人代表（プロフィール）

18歳から30歳までの12年間ひきこもりを経験。30歳より民間支援団体の居場所通所を始める。

その後、精神状態を崩し1年間のホームレス生活を経験。現在は、京都北部の「NPO法人ニュートラル」スタッフとして、ひきこもり支援活動を行っている。

その一方で8月に桃の会でお話し下さった京都オレンジの会、山田孝明さんの活動にも深く関わり8月27日、京都しんらん会館で「市民の会、エスポワールフェスティバル」の実行委員長として山田さんと共に40代50代のご家族の集まりを開催されました。回を重ねる度に参加者は増え、今回参加者130数名にものぼりました。

〈日 時〉 9月17日（日）13：30～16：30

〈場 所〉 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

〈参加費〉 一家族 1,000円（当事者は無料）

〈内 容〉 12年間のひきこもり期間のなかでの家族との関わりや当時考えていたこと。

居場所に通所後の様子や現在の活動および今振り返って思う事をお話しできたらと思います。 [お話後グループトークをします]

《当事者スペースも開いています》

〈日 時〉 9月17日（日）13：30～16：30 パソコン室

“きさくい仲間が待ってるよ、いっぺん出てこうし！”

**《ミニグループトークの御案内》**

〈日 時〉 9月24日（日）10：00～12：00 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

「肩ひじ張らないお話し会です、お気軽にどうぞ！」お待ちしております。

♣ 参加費は無料です。



☆ピアサポート（個別家族支援）を行っています。

「つながり」は家族の孤立を防ぎます。

まず、第3者の風を！！！！

●ピア Voice

ひきこもりについて社会では、80・50、70・40 問題として認知されつつあります。私も家族はまさにその真ただ中にいます。夫婦共 70 を超え二人の兄妹の娘は今年 40 代半ばとなり中学卒業からずっとひきこもり生活を続けております。親の死後はどうなってしまうのかと考えると、心配でたまらなくなります。30 年近くのこの間にはいろいろな葛藤があったことは私の家庭のみならず同じひきこもりの子供をお持ちのご家族であれば、似たようなものであったと思われれます。そんなお手上げ状態の時、2014 年 8 月に桃の会が発足となり、当時の山日紙上でその記事を見たときは燦然と輝いて見えました。光明を求め、県立図書館へ行き池上正樹さん、池田佳代さんの話は胸が打つものがありました。しかし何回か通ってはみたものの、期待していたものとはやはらずれたような感じで、次第に足が遠のいていったものです。そんなとき今度は兄の方が悪魔と天使が綱引きをするような病気にかかり、1 年もの闘病生活を強いられました。幸いにも天使が微笑んでくれ、社会復帰をすることが出来ました。その間桃の会は年会費も払わないのにせっせと会報を送り続けてくれました。そんなことへの申し訳なさから今年の 2 月のミニグループトークへ夫婦で参加したところ、今まで「悲劇の主人公は我が家庭が一番だ」と思っていたら、運営委員の方々も私たち以上に悲惨な状況であることが分かりました。その時「今役員が不足している」と言われ、今まで桃の会の私たちへの親切を考えたら「これは受けざるをえないな」と思い、微力ではありますが以降お手伝いをしています。今でも我が家の状況は一向に良くなっていません。むしろ悪くなっています。自分の頭の蝸も追えない者が、運営委員として関わって、救いを求めてくる人たちの何の役にも立てないもどかしさで良心が咎めますが、来た人たち全員が納得できなくても一人でも、少しでも元気になってくれればいいのではないかと考えて、役員を続けていきます。

私が思うに、このひきこもり状態を解消するには、何らかの形で親子の生活を離すよう、例えばピアサポートを活用し、居場所作りに 20 年以上も関わっておられる、山田孝明さんのライフアートへ委ねるといったように、とにかく親子別々の生活をしないといつまでたっても解決はできないと思っています。「我が家も他力本願な考えで情けないと思いますが、そういった方向へ進めたらいいな」と考えています。

(K.O)

☆ミニグループトーク☆

8月27日(日) 10:00~12:00



今回は特別にテーマを決めずに、グループ毎、一人一人の近況の話の中から出た不安や困り事を話合うことになりました。家族との会話が少しずつ出来るようになった人、スーパーなど買い物や手伝いをしている人、カウンセリングに通っている人、まだ外出が難しい人、それぞれ立場は異なりますが、ここからそれぞれの一步をどうしたら前に進める事が出来るかが課題になりました。

親達も不安があり、これから どの位待てばいいのか？

親が子供を信頼してずっと待つやる事の難しさ、ここが一番かもしれません。

1 年、5 年、10 年、またそれ以上かかる事もある中で、どうすれば 1 日でも早く元気になれるか、子供にどう寄り添っていけばよいか、親の課題のような気がします。

家族会に参加して、今少し会話が出来るようになった。との報告をいただいてとてもうれしい気持ちになりました。

(T.T)

KHJ東京大会呼びかけ

[KHJ東京大会へ行こう!! 脱山梨～新たな出会い～チャンス+チャンス]
10月28日～29日

当事者スペースの報告

2017年8月19日(土)

○時間 午後1時30分～4時30分 ○場所 福祉プラザ1階PC室

○参加当事者・経験者(5名)(初参加者 1名)

○関係者(1名)

○スペースにおける内容

- ・フリートーク
- ・情報交換
- ・趣味についての話し(音楽・歌など)
- ・県内、県外の居場所についての話し

○感じたこと

月1回の開催ですが、情報を交換したり、人の話を聞いたり、貴重な時間となっています。
(報告者 米長)



私の生き方は
これなんですよ・・・

居場所情報



キリギリスさん
いい調べを有難う!

【農園でギャザリングしよう!】

◆市民農園・・・・・・・・・・1区画55㎡(約17坪)、1年間6,000円

◎ 場所: 甲府市七沢町 友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか?

◆ボランティア・・・・・・・・・・主に果樹の畑に関わる作業

◆みくさのみたから・・・・・・・・・・ストレスなどで凝り固まった心身を解放するワークです。

9/5(龍華院)以後の日程・場所は未定です。詳しくは担当者に直接お問い合わせください。

◆申し込み・問い合わせ・・・・・・・・相良(さがら)農園 055-243-0261

〈すみれ会・9月の予定〉

◇ 月例会 ・9月16日(土) 13:30～

☆ 本場韓国のちぢみ作り!

◇ 当事者会 ・9月17日(日) 13:30～

◇ つなぐきらめき・山梨県障害者芸術展

すみれ会参加の「野中みほ」さんの絵画展

と き: 8月29日(火)～9月10日(日) 9:30～16:30

ところ: 藤村記念館(甲府駅北口よっちゃんばれ広場)

♥ 観覧無料

〈このコーナーすべてのお問い合わせ〉090-5416-8748(清水)





8 月月例会報告

8 月 19 日 (土) 13:30~16:30



ひきこもり大学と称し、元ひきこもり経験者の方を講師に招いて定例会が行われました。瓜生直樹さん、大橋史信さんのお二人を講師としてお招きしていましたが、大橋さんが突然の事情により、来ることができず（大橋さんのお話をお聴きしたかった皆様申し訳ありませんでした。この場をお借りしてお詫び申し上げます）瓜生さんお一人での講演でしたが、自身の経歴・体験・感じた事等々、途中質疑応答を交えなが

ら話を進めていただきました。

瓜生さんの実直な人柄と元当事者のお話ということで、質問も多くなされ予定時間を若干超えての実にある講演会でした。

質疑応答の中から

親の行動でイラっとしたこと

*子ども自身が、親に何かを発信してきた時はいいが、発信もない時に親が出すぎたり、過保護だったり・・・子ども自身のスペースまで入らず、その子自身のスペースを大切にしてほしい。

*仕事がゴールではなくて、子ども自身がしたいと思うことは応援してほしい。親は過干渉にならないで。子どもの人生は子どもの人生なので、本人が納得するまで待つ（信じて）ほしい。（いつまで待てばいいか・・・と思うかもしれないが）

どんな状況からどう気持ちが変わっていったか

*瓜生さんの場合、家庭内で様々な出来事が一気に起こり、自分の置かれている家庭状況から、自分がどう生きていくか考えた。対人関係で人間不信にも陥ったが、病院にかかりワーカーさんと関わり相談する中で、なりたい自分・自分に何ができるか・見返してやりたい・このままでは終わりたいという気持ちがでてきた。

家族・親との距離

*来てほしい時には来なくて・・・と以前は思っていた。諸事情により家族と離れて暮らすことになり、自分自身を見つめられた。親と距離を置くことでお互いが思いやれるようになった。一家族一家族家庭状況は違うので一概に離れて暮らすことだけがいいとは言えないが・・・。ただ親と子の適度な距離を置くことは大切なのでは。

グループトーク

1グループ4~5人でグループごとテーマを決め話し合いを行いました。瓜生さんにも話し合いに加わっていただきアドバイスをもらったり、瓜生さんの話を受け話し合ったり、日頃の悩みを相談したり、それぞれのグループごと、じっくり話し合いがなされました。

～親は知らず知らずのうちに過干渉になってしまう。客観的視点を持ちあなたの人生・私の人生という作業を意図的に行う。親も試行錯誤しながら・・・そして子どもを信じ切る～

瓜生さんの講演と最後にまとめを言われた篠原会長の言葉が私の心に響きました。

(H.A)

～ 今後の活動予定 ～

運営委員会	10月7日(土)か8日(日)	10時～	パソコン室
※月例会	KHJ東京大会に全力を傾注するため10月はおやすみにします。		
ミニグループトーク	10月21日(土)	10時～	福祉プラザ 4F第二会議室
			場所・日程が変更になることがあります。